

仙白園プロジェクト・人

通信No. 96



「仙白園プロジェクト・人」は、仙台白菜などを畑で育てる活動から発展して、様々な人たちと交流しながら、若者を中心に、社会・地域の一員として主体的に行動できる人づくりを目指しています。

今年度2回目の活動となりました。今回は仙白園プロジェクトの若者とサポーターに加えて、小中学生のボランティア団体の「チャイルドボランティア チャボ！」も一緒に活動しました。宮城教育大学教職大学院の梨本教授と大学院生3名が活動を見学しました。

まずは、畑の管理として、草取りをしました。畑いっぱいにあった雑草をみんなで力を合わせて抜きました。チャボ！のメンバーが一緒だったためか、いつもよりもぎやかで、畑中に笑顔が溢れていました。

チャボ！メンバーは水やりも進んで行っていました。「水やり、やりたい！」という声が、あちこちから聞こえてきました。

草取りが終わった後に、若者メンバーからチャボ！メンバーへ向けて、野菜クイズを行いました。「この種は、なんの野菜の種でしょう？」「みんなが食べているジャガイモは、ジャガイモのどの部分でしょう？」「苦くないピーマンのがくの形は？」など、どれもとても勉強になる問題でした。

最後に、収穫体験をしました。1か月前に植えた「はつか大根（ラディッシュ）」がちょうど収穫時期でした。一人5個ずつ、お土産として持ち帰り、第1部を終了しました。



草取りや水やり



野菜クイズ



話し合い



第2部は若者による話し合いでした。絆サイダーを販売し、売上金をすべて「わたしのふるさとプロジェクト」へ寄付することが決定しました。また、SNSを活用して自分たちの活動をインスタグラム等でPRしていくことなどが決まり、早速アカウントを作成していました。

市民センターでは、新型コロナウイルス感染防止対策を行って活動しています。